



私の街こまつ



THE KOMATSU CITY COUNCIL NEWS

議会だより



Topic!

令和6年度決算を認定

Contents

9月定例会	2	常任委員会 審査報告	18
市政Q&A		特別委員会 調査報告	21
代表質問・一般質問	4	議決結果	22
予算決算常任委員会総括質疑	15	活動ピックアップ	23

撮影 小松大谷高等学校写真部 1年生 岩崎 萌嘉さん



市議会HP



マチイロ

9月定例会

会期〈9月1日～9月30日〉

9月1日 開会

市長提出議案

予算案 4件

条例案 6件

その他議案 3件

8日 代表質問 (3人)

一般質問 (3人)

9日 一般質問 (8人)

10日 一般質問 (5人)

17日 予算決算常任委員会総括質疑

18日 各常任委員会 (分科会)

19日

22日 特別委員会

26日 予算決算常任委員会

30日 閉会

市長提出追加議案 1件

議員提出議案 1件

※議案等の採決結果 (P22参照)

条例案等をチェック ☒ (P19参照)

市長から提出のあった条例案やその他の議案については、各常任委員会で審議されました。

予算案をチェック ☒ (P18参照)

市長から提案のあった予算案については、予算決算常任委員会で審査されました。

令和7年度9月補正予算

一般会計 補正額 6億1,166万2千円

特別会計 補正額 1億5,338万6千円

合 計 補正額 7億6,504万8千円

一般会計の累計

553億7,196万2千円

全会計の累計

1,134億2,494万8千円

決算をチェック ☒ (P18参照)

令和6年度決算については、予算決算常任委員会で審査されました。

令和6年度決算 (歳出)

一般会計 562億9,846万円

特別会計

国民健康保険事業 89億3,729万円

介護保険事業 102億1,722万円

公債管理 69億992万円

産業団地事業 30億4,307万円

後期高齢者医療 19億9,579万円

企業会計

水道事業 21億8,312万円

下水道事業 38億6,637万円

小松市民病院事業 102億9,476万円



議員提出議案をチェック (賛否はP22参照)

議員から提出された議案のうち意見書については、可決された意見書を、内閣総理大臣をはじめ、関係機関に送付しました。

議案第8号 地域医療提供体制の維持・確保のための診療報酬改定等を求める意見書

本会議の討論 (賛否はP22参照)

橋本議員から以下の市長提出議案と請願の不採択に対し、反対討論がありました。

議案第68号 令和6年度小松市歳入歳出決算の認定について

請願第2号 消費税率5%以下への引き下げとインボイス制度の廃止を求める意見書を政府に送付することを求める請願

人事案件

教育委員会委員（任期 令和7年10月5日～令和11年10月4日）

なかそう きょうこ
中惣 恭子 氏（若杉町）の任命に同意しました。

DX運営協議会が設置されました

(DX運営協議会の設置に伴い、ICT運営協議会は廃止されました)

委 員 〈会長〉岡山 晃宏、木村 賢治、吉柴 文悟、深田 博智、村中 洋、中西 肇、木下 裕介

目 的 DX(デジタルトランスフォーメーション)を個々の議員が正しく理解し、議会全体の変革を推進するため、DXに関する課題の調査・研究を行い、議長への提言等を行うこと

- 所管事項**
- ・ 議会におけるデジタル技術の活用による円滑な会議運営及び業務効率化に関する研究
 - ・ 情報通信技術の導入・活用に関する課題の整理と対応方策の検討
 - ・ 会派、無会派内での調整及びDXに関する意見聴取と共有に関する業務
 - ・ 議員のDXに関する理解促進を目的とした研修・勉強会等の企画及び実施
 - ・ 市民との情報共有や開かれた議会実現に向けたデジタル手法の検討
 - ・ その他、設置目的を達成するために必要な事項





会派自民
おもて やすし
表 靖二 議員

代表質問 一括質問

建築費膨らむ 未来型図書館



動画で
チェック

◆未来型図書館について

Q 床面積9,000㎡、約86億円と試算されているが、昨今の建設費の高騰から100億円を優に超えてしまうのではないかと懸念されている。維持経費も5億円を上回ると考えられる。規模縮小の考えはないか。

A 市民との対話の下、多面的な機能を有する複合施設として、公共施設マネジメントの観点も踏まえ9,000㎡を基本としており、現時点で規模圧縮は考えていない。



解体中の公会堂

◆小松アリーナ計画について

Q インフレの進行から約350億円に膨らんだ同計画について、県の参画、収支見込み、赤字の最終負担者など課題が多いが、見通しは。

A 今は県・市・事業者がそれぞれの知見を持ち寄り、協議する場を作っていくときであり、国を交え、公的支援について議論を進める。

◆上下水道料金について

Q 市の経営する上下水道事業では、上水道は黒字で、下水道については実質赤字の状況。老朽化した下水道管の更新や改修を課題とする中、国は経費回収率の改善を求めている。料金改定の見込みは。

A 「小松市上下水道事業経営懇話会」を設置し、下水道使用料の見直しを検討する。使用料改定の是非も含め適正水準を検討し、年度内に方向性をまとめる予定。

◆行政経費について

Q インフレが進む中、行政経費の伸びと税収の増加状況は。

A 令和6年度決算では、人件費が前年比6.1%増の64億7,000万円、維持管理費が10%増の81億6,000万円。一方、税収等は増加基調であるが、行政経費の伸びを賄うまでは増加していない。

◆学校給食について

Q 食材費の高騰と市財政への負担額の推移は。

A 物価高騰の推移に応じ、1食あたりの単価を見直している。食材費は、令和5年度は約4億9,000万円、令和6年度は約5億2,000万円を支出、令和7年度は予算ベースで5億4,000万円を計上している。

◆カブッキーランドについて

Q カブッキーランドの運営について、市内こども園から協賛金を負担してもらっていたが、それを休止した理由について問う。

A 市内こども園では、小さな子供たちが安心して体験できる遊具やキッチンスタジオを備えているカブッキーランドの活動を支援するため、施設の開設当初より協賛金を負担されてきた。

この取組の目的はおおむね達成されたと考えており、今後は子供たちが過ごす、こども園の環境改善に活用いただけるよう、今年度から協賛金の支援を終了した。

◆サイエンスヒルズこまつについて

Q 利用者数の推移や年間運営費、維持経費の増加率について問う。

A 有料利用者数の各年度の合計で見ると、令和6年度は令和4年度から約6%増加している。特に体験教室参加者、ホール利用者が増加している。

歳入について事業収入の各年度の合計で見ると、令和6年度は令和4年度から約20%増加している。歳出は、令和4年度と比較して令和6年度は約26%減少しているものの、そのうち光熱水費については令和6年度は令和4年度と比較して約25%増額となっており、物価上昇によるものと考えている。